

グループホーム 彩光苑

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		運営理念を利用案内時説明、説明文書及びホームの見やすい所に明示かつ入居者家族にわかりやすく説明している。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		管理者は、運営上の方針や目標を介護従事者に日常的にも、ミーティング時にも話している。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		自治会・民生委員・児童委員運営推進会議・小学校を通じて、運営理念の啓発・広報に取り組んでいる。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		隣近所の方より、不要になった雛人形・クリスマスツリーの贈与等。近所の小学生(利用者の曾孫)らが遊びに来る。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		小学校行事・後援の花植え・地域の祭り・廃品回収等に参加し交流を深めている。

グループホーム 彩光苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	自治会の廃品回収、町内清掃等に参加協力をしている。またその場において、地域の情報を得ている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回、ご指摘のあったことなどを中心に、スタッフミーティング等において話し合っている。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回会議を実施。自治会長・民生委員・包括支援センター職員・御家族と意見交換を行い、サービスの向上に取り組んでいる。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	包括支援センターとのかかわりはあるが、市からの委託事業等は現在なし。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	ミーティング時に制度について学習している。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティング時に虐待の防止について話し合いを行っている。		

グループホーム 彩光苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時・契約時、また要望があれば、その都度重要事項等の説明を行っている。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見や不満等に関して、その都度職員、必要があれば御家族とも話し合いを持つようにしている。玄関カウンターに苦情箱をもっている。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>来苑時に日常の状態及び健康状態を話している。職員の移動等がある場合も説明を行っている。金銭の出納は毎月確認印をもらっている。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族来苑時にお尋ねしている。苦情受付箱も設置している。行政への相談・苦情等は、わかりやすいところに明示している。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月のミーティング時・申し送り時等に、意見を聞き運営者等に報告している。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>人員の応援が必要な場合、公休中の職員・もう一方のユニット職員で対応。必要に応じて運営母体の職員も動員できる体制をとっている。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ミーティング時に意見交換等を行っている。離職等によりやむを得ない場合は離職理由等についての話し合いをした上で今後改善策を取り入れる努力をしている。</p>		

グループホーム 彩光苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p>	採用にあたり、どのような介護を提供したいと考えているのか、またグループホームはどのようにあるべきか等を尋ねる。熱意が感じられる方であれば、年齢・性別は特に問わない。資格取得希望があれば勤務調整を行う。		
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	ミーティング時等に話し合いを行っている。		
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	管理者より、指導・助言を行っている。法人外の研修後は、内容についてミーティング時等の場勉強会を行っている。		
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	門司区介護サービス事業者連絡協議会参加。及び研修会等に参加している。		
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	ミーティング時等に話し合いを行っている。及び、食事会にて親睦を図っている。		

グループホーム 彩光苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	研修会等の参加。有資格者には、資格に応じた、資格手当を充足している、		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	実施調査に伺い、ご本人と話をする機会を設けている。その後、体験入所等の機会を設けている。		
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	実施調査後に伺い、ご家族に話を聞いている。		
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人・御家族の必要としている支援を協議し対応が困難な場合は、他施設等の紹介が取れる体制をとっている。		
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学・体験は、ご本人の状況に合わせ、時間帯については決定している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	出来る事は共同で行い、得意な分野に関しては、リーダー的な役割を持っていただき、職員も教えてもらうなどしている。ひとつの大家族になれるように努力をしている。		

グループホーム 彩光苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	来苑時、共にレクリエーション・作業等に参加していただき楽しんでいただいている。このような機会を通し他入居者にもかわりを持っていただいている。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	各行事への参加や、面会等の来苑時にコミュニケーションを図る機会を設けている。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人との昔話をお聞きしたり、以前住んでいた場所の話を行っている。外出する際は実際の場所通過時に、思い出していただけるように勤めている。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員が、利用者個々の能力を把握した上で無理なく行えるように、声掛け・見守りを行っている。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	諸事情により退苑された利用者・ご家族にはいつでもご相談に来られてもかまわないことを伝えている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で、傾聴の姿勢を常に持ち、状態の観察を怠らず、意向の把握に努めている。		

グループホーム 彩光苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人の今現在できること、今までは出来ていたこと、また、行いたい事を個人ケアとして行っている。		
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	御家族・ご本人より、日常生活の話を聞き、ケアプランに取り入れることで、日々の生活に反映されるように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族来苑時尋ね、確認している。ご本人にも日常会話等の際に尋ねている。毎月1回第1水曜日にスタッフカンファレンスを実施し徹底している。		
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1回の見直しを実施している。見直しの前には、スタッフ・御家族ともカンファレンスを行う。状態の変化時・入退院時にもその都度行う。		
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	1日の活動内容がわかるよう完結に記録、夜間は1時間後との見守り記録を実施。状態の変化時等は、随時意見交換を実施している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況や要望に応じて、適切な病院などへの受診を行なえる体制をとっている。デイサービス・ショートステイ等は行なっていない。		

グループホーム 彩光苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	自治会会議に参加。2ヶ月に1回運営推進会議を実施し民生委員・自治会長・家族会代表・包括支援センターの方々に参加してもらっている。 小学校・市民センター・警察・消防等への理解・協力をお願いしている。		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	門司区介護サービス事業者連絡会に入会し、部会への参加。 運営推進会議に包括支援センターよりケアマネジャーに参加してもらっている。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	2ヶ月に1回の運営推進会議に包括支援センターの職員1名参加していただき相談を行っている。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医以外の受診もご希望の医療機関を受診している。		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	定期的に予約をして受診を行っている。ご家族の要望等もその際に相談に乗っていただいている。 歯科は週1回往診にて対応している。		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	近隣の協力機関の看護師に相談を行っている。 管理者(看護師)にも相談助言を行っている。		

グループホーム 彩光苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	見舞い等を行っている。利用者の御家族・医療関係者とも話し合いが持てるように連携し、情報交換に勤めている。		
49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	日常のご本人の様子を家族やかかりつけ医に相談、話し合いを行い全員で方針を共有するようにしている。		
50	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	利用者が日々を良く暮らせるために、全職員参加による月1回のミーティングで、ケアプランについて話し合っている。状態の変化にも対応できるように近隣の医師等への相談、協力の下検討を行っている。		
51	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	転居先へ情報提供を行っている。ご家族や、ケア関係者とも十分情報交換を行い住み替えによるダメージを軽減するように努めている。ご家族には、退去後も相談に応じることも伝えられている。		
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねることの無い様に、支持的・否定的な言葉掛けをしないように徹底している。職員の動きについてもやさしく・静かに対応することをミーティングを通じて周知徹底をしている。		

グループホーム 彩光苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	活動内容の説明、希望の内容があればお聞きしている。水分補給も好みにより、冷茶・温茶などの希望をお聞きしている。		
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常的に入居者のペースで生活が送れるように取り組んでいる。毎食後等、ゆっくりとした時間をとり活動について等の会話をしながらゆったりとした時間をとっている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	近隣の美容院へ出向き、ご希望により、カット・パーマ・毛染めをされている。衣服についても、ご自分または職員と一緒に準備する。		
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	白米以外にも麺類・パン類等、利用者の好みを取り入れながら、献立を考えている。食材を切ったり盛り付け等もしていただいている。食後も、食器の下膳、洗浄も職員と一緒にしている。		
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お正月など季節の行事等にお神酒や好物を提供している。日ごろのおやつ、飲み物も温・冷を用意している。利用者もその時間を楽しみにされている。		
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりの排泄パターンを記録し、把握することで定期的に声掛けを行うことで失敗やおムツの使用を減らしている。		

グループホーム 彩光苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やご家族の希望等を考慮し、入浴を楽しめるようにしている。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	生活習慣に応じて、ベッドもしくはたたみの上に布団を敷き寝ている。布団は使い慣れたものを持参していただき使用している。個々の個別性に配慮し、昼寝の時間をもち仮眠してもらっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴を考慮し、食事の盛り付け・掃除・裁縫・一人ひとりの能力を活かせるように支援している。		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	欲しい物があれば、一緒に買い物に行き支払いなどをしていただいている。自ら管理している方も買い物時に支払いを行ってもらっている。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣への散歩に行ったり、定期的な買い物に行くなどの外出支援をしている。季節に応じた場所への外出・外食もつきに1回は定期的に行っている。		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	苑の車や公共交通機関を活用している。また、日帰り温泉旅行なども実施している。お盆や正月等にご家族との外出や外泊を依頼し調整を行っている。		

グループホーム 彩光苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	番号がわからないときなどは番号を教えて差し上げている。敬老の日などには、近隣の小学校からお手紙を頂いているがそれに対し、お礼状を出している。自書できない方はご本人のお気持ちを代筆するなどしている。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	玄関は常に開錠している。ご家族やなじみの方たちが来苑された際にはお茶等を勧めたりしゆっくりとお話が出来る環境を提供している。		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ミーティング等で禁止項目について正しい知識を身につけ身体拘束とならないケアに取り組んでいる。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関上部に体温感知センサーを設置。センサー作動時には、必ず確認を行っている。玄関・勝手口共に開放している。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	ご本人の居室への入退室時には、ノックし声掛けをしてから静かに入退室を行うようにしている。夜間は1時間毎に巡視を実施している。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	包丁等の調理器具、夜間は布にくるみ手の届かないところに保管し、危険のないようにしている。洗剤や日用品等の在庫類は施錠し保管している。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	些細なことでも、ひやりはっと報告書に記入し、申し送りやミーティングの場にて話し合い、事故等が未然に防げるように取り組んでいる。		

グループホーム 彩光苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルを作成し、詰め所に掲示している。		
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時のマニュアルが作成されている。年2回の避難訓練を予定している。		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	精神面・身体面・機能面を含めカンファレンス時やご家族の来苑時に随時説明を行っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝、バイタルチェックを実施している。異変時は、かかりつけ医・協力医療機関に連絡し、指示を仰ぐ。ご家族にもその旨説明をするなどの対応に努めている。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は、入居者の内服薬の目的・副作用・用法・用量などを個人ファイル等にて把握し、管理しており、誤薬等の無い様に努めている。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	乳製品や繊維質の多い食材を用いて調理をしている。また、苑内でのウォーキング・体操などの適度な運動を毎日行っている。排便チェックも毎日実施している。		

グループホーム 彩光苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後に、口腔ケアを行っている。不十分なところに関しては、介助を行なっている。義歯の洗浄も毎週日曜日に行なっている。定期的に歯科の往診にて、治療等も行なっている。		
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量は毎回記録し手いる。メニューもバランスの良いように肉・魚野菜のバランスの良いものと考え提供している。水分は、起床時・毎食時・おやつ時・入浴時、適宜水分補給を行なっている。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	入居者・職員への手洗いうがいの励行を行なっている。11月に全利用者・全職員インフルエンザワクチン予防接種実施		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具等は、食器乾燥機使用し収納している。布巾類は漂白消毒を每晚実施。食材に関しては、新鮮なものを使用するため、こまめに仕入れを行なっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りには草花を配し、雰囲気づくりに努めている。		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	畳スペースには座椅子、玄関ホールにはベンチを置くスペースを確保して、自由にくつろげる環境を確保している。 風呂場・台所にはのれんを配し、玄関・デイルームには四季折々の草花を配している。デイルーム壁には季節ごとにディスプレイを作り変えている。		

グループホーム 彩光苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ウッドデッキに通ずる和室を設け、冬には掘りコタツとして使用できる。横になる事も出来、会話やお茶を飲むことも出来る場所を設けている。		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家庭で使用していた寝具・家具を持参している。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	冷暖房使用。定期的に窓を開放し喚起を実施。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	浴室・トイレ廊下に手すりを設置し、玄関等も緩やかなスロープにし、バリアフリーにしている。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレ・浴室毎に表示をしている。居室入り口には似顔絵や、自筆の表札を提示しわかりやすいようにしている。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	敷地内に畑を配し、四季折々の作物を植えたり、水やり、草取り、収穫などを行っている。		

グループホーム 彩光苑

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

グループホーム 彩光苑

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

日常生活において、出来る事は極力ご自分で行えるように、サポートを心がけている。・・・現存機能の活用
 四季折々の行事への取組を行なっている。・・・季節感を味わう
 毎月、1回は外食、及びドライブの実施（真夏・真冬に関しては回避）・・・社会参加
 月に2回利用者共同作業でのおやつ作り・・・現存機能の活用
 毎月、お誕生日会の実施
 毎月1回の苑便りを発行、郵送の実施・・・家族交流
 近隣の公園等への散歩(真夏・真冬は苑内ウオーキング)・・・健康の維持・増進
 夏祭り・餅つき大会（御家族参加）・・・家族交流

上記のような取組を継続的に実施することで、心身共に健康で居ていただきたいと考えております。